

相良守次 （結城）、心理學者、文學博士。明治二十六年五月八日山形縣
生れ（一九〇二）。昭和四年東京帝國大學文學部心理學科卒。成城高等
學校教授を経て、東大教授。

著譯書ハ『俳句作法講座・第一卷』（合著、昭和十年十月、千日改造
社）、『行動と生活環境』（昭和十七年八月、千日弘文堂書房）『教養
文庫』（、『記憶とは何か』（昭和二十五年と六月、千日岩波書店）『岩波

新書』（、『ケーラー著『心理學における力學說』（譯、昭和二十六年
一月、千五百岩波書店）『岩波現代叢書』（、『藝術形象の心理』こと
ばのリズムを中心として』（昭和二十八年十月十八日、牧書店）『牧教育
新書』（、『クルト・レヴィン著『パーソナリティの力學說』（山川隆
共訳、昭和二十一年十一月、千日岩波書店）、『現代心理学の諸學說』
（編、昭和二十九年十一月、千四日岩波書店）、『心理學概論』（昭
和四十二年十一月、千五百岩波書店）、『教育の心理』（昭和四十八
年十一月、千日岩波書店）『岩波新書』（等。

